

校外生活部だより No.2

◎地区班パトロールの報告方法に関して

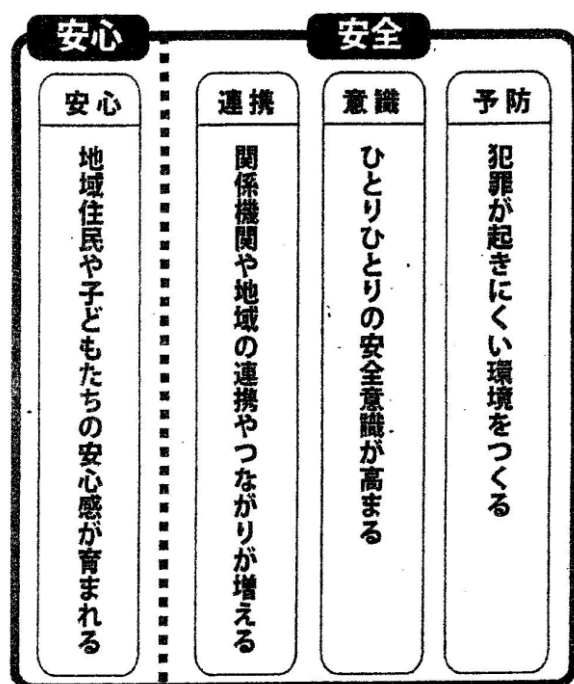
班長、副班長をはじめ、班員の皆様、日々防犯パトロールのご協力ありがとうございます。
現状、報告はQRコードと紙の2つ方法があり、殆どの方にQRコードをご利用頂いています。
タイムリーな報告の徹底の為、今後はQRコードでの報告を推奨し、パトロールキットから報告用紙は撤去致します。
QRコードでの報告が難しい方は、各地区の班長・副班長にご相談ください。

◎PTA 活動セミナー報告(令和3年5月18日:Zoom配信)

校外生活部向けの講座にて、「うさぎママのパトロール教室」主宰 安全インストラクター 武田 信彦さんより、
パトロールと身を守るコツや逃げるワザについてのお話がありました。

●パトロールの効果

防犯パトロールに特効薬はありませんが、予防・意識・連携を通して「安全の免疫力」を高める事ができます。
さらに子どもたちに寄り添う活動の中で安心感も広がります！



見ていてくれて、ありがとう！



地区班パトロールや、日々の外出の際にでも死角や隙が生まれるような場所に目を向けていく事で予防につながります。また不審者や不審車両、子どもたちにとって危険を感じた時は、躊躇せず 110 番通報をすることも大切です。

●身を守るコツと逃げるワザ

～ 大切な自分の心とからだをしっかりと守りましょう ～

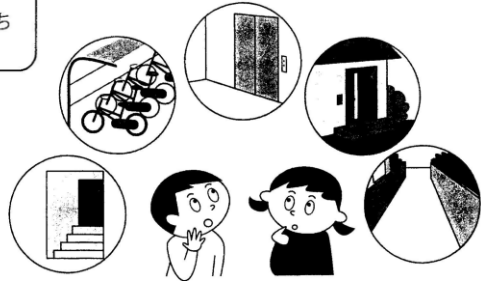
お子さんと一緒に
お読みください！

① ひとりにならない

ポイント!

子どもたちのコミュニケーション能力を育むためにも、地域のみなさまとのあいさつなどはとても大切な練習の機会です。また、安全確保のためには、登下校時など、保護者やPTA、地域のみなさまの見守りの中で、「ひとりにならない」環境づくりが欠かせません。子どもたちと一緒にどうしたらひとりにならないかを考えてみましょう。

② ひとりになるとき どんなとき?



ポイント!

子どもの行動範囲が広がると、どうしても「ひとりになる」瞬間が生まれます。それは、最も気をつけなければいけない時でもあります。場所や時間にとらわれず、「ひとりになる」瞬間はどんなときでしょうか。

③ まわりをよくみる、よくきく

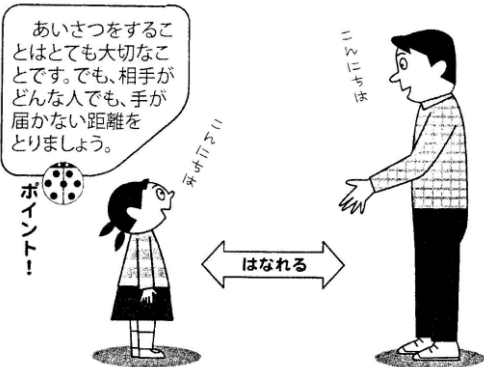


ポイント!

まわりに意識を向けることは、危険を寄せ付けず、万が一のとき対処を早めるための「予防力」です。とくに、自宅周辺など慣れている場所は、心や身体に隙(すき)が生まれやすくなるので注意が必要です。「だるまさんがころんだ」など、簡単なフレーズで習慣にするとよいでしょう。

もし、ひとりになったら、まわりをよくみて、よくきいて歩きましょう。自分のまわりにどんな人(車、バイク、自転車...)がいるのか、しっかり確認して歩きます。

④ さわられない、つかまれない



⑤ できません!



⑥ にげる



「にげる」は、自分で決めてよいことです。「コワイ」「イヤだ」と感じたら、助けてくれる人がいるところまでダッシュで走り切ります。日ごろの買い物や散歩のなかで、助けてくれる人がどこにいるのか確認しましょう。

ポイント!

⑦ たすけてををつたえる

危険からは「にげる」が一番です。そのとき、まわりに人がいるようであれば声と身体をつかって「たすけて」を伝えましょう。声と身体を使って伝えると効果的です。また、不安なことなどを周りの大人たちに伝えられる環境づくりも欠かせません。

ポイント!



★もう一度確認!

「いかのおすし」 いかない、のらない、おおごえをだす、すぐににげる、しらせる